

耐震改修計画評定の申請書類

図書の種類	明示すべき事項	申 請	一次審査 ^{※1} (立会いを要する 場合)	二次審査 ^{※1}	最終版 提出
申 請 書	(一財)愛知県建築住宅センターの指定様式 (様式1)	○	○	○	CD-RW (自己負担 でお願い致 します。)
引受承諾書	同 上 (様式1-1)	○			
方針説明書	同 上 (様式2)	○	○	○	
概要書および コンクリート強度報告書	同 上 (様式2-1)	○	○	○	
付近見取図	方位、道路及び目標となる地物	△	△	○	
配 置 図	縮尺、方位、敷地の境界線、土地の高低、敷地の接する道の位置、敷地内における建築物の位置及び申請に係る建築物と他の建築物との別。	○	○	○	
各階平面図	補強内容と補強位置を明示(現況と補強後)	○		○	
立 面 図	同 上	○		○	
基礎伏図	同 上	○	○ ^{※2}	○	
各階床伏図	破壊形式・第2種構造要素(現況と補強後)	○	○ ^{※2}	○	
軸 組 図	同 上	○	○ ^{※2}	○	
小屋伏図	同 上	○	○ ^{※2}	○	
断面リスト	診断に必要な部分を添付する。	○	○	○	
構造詳細図	補強部位の詳細がわかる図面(平面的・立面的な図面、もしくは立面的、断面的な図面。屋根ブレースの補強を行う場合は妻面及び桁面との取り合いを記載した図面を添付すること)	○	○	○	
現地調査結果	調査内容、考察の記述。及びその内容がわかる写真(カラー)を添付する。	○	△	○	
実態調査結果	鉄骨の場合は接合部について実態調査用紙 ^{※3} を添付する。(様式3)	○	△	○	
各 種 検 討	境界梁の検討等の特別な検討 ^{※4} が必要な場合は添付する。	○	△	○	
構造計算書等	補強前・後の耐震性能判定値 ($I_s, C_{TU} \cdot S_D$) <注意> 複数の方法(次数)から総合的に判断する場合は、その結果表も添付すること。 添付位置は「概要説明およびコンクリート強度報告書」の後ろとする。	○		○	
	電算出力 ($I_s, C_{TU} \cdot S_D$ 等結果表、T, SD指標の根拠, 入力データを示す部分)			○	
	補強前・後のCFグラフ補強部材計算書(ブレース材、あと施工アンカー、スタッドボルト、鉄骨継手・仕口部等)			○	
	コンクリートコア試験結果	○		○	
写 真	全景及び詳細(カラー写真)	○	△	○	
そ の 他	ページ数を記入すること。建築士資格の写し及び耐震診断資格者講習会受講証明書の写しを添付すること。	○	○	○	
必 要 部 数		1部	13部	5部 (返却用を一部 含む)	

図面サイズは、A4又はA3とする。A2は不可

※1 一次審査、二次審査は設計者に立会い(説明)をしていただきます。
ただし、一次審査においては立会いを要し無い場合があります。その際は、申請時必要書類の「概要書およびコンクリート報告書」を使用しますので、新たに資料を提出していただく必要はありません。
(立会いの有無は、申請書類の内容確認後決定します。)

※2 補強後の図面のみでよい。

※3 耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断及び耐震改修指針・同解説(1996) [(財)日本建築防災協会] P36
もしくは屋内運動場等の耐震性能診断基準(平成18年版) [(社)文教施設協会] P17を参照

※4 2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準 同解説 [(財)日本建築防災協会] P268~参照